



## 「こんにちは 市長です」

10月10日号

9月議会が先月末終わった。予算規模は835億3千万円となった。補正予算に千葉の木更津市へ災害見舞金100万円を加えた。イベントの度に職員が海苔などの物産を持ってやってくる。もうかるはずもない、お付き合いで、である。ある時、私が講演に呼ばれたことがきっかけで交流が始まった。

職員の交流もある。見舞金は市職員が協力してくれて総額300万円となり、さらに議会も加わって総額315万円までになった。心から「ありがとう」である。木更津市長にお渡ししてきた。感謝をしてくれた。

この議会で義務教育学校「北の杜学園」の建設費総額18億700万円を提案した。賛成多数で可決をし、いよいよ工事が始まる。北中学校区の小学校、太田東小と韮川西小と北中とが一体になって教育しようという試みである。群馬県では初めてであるが全国では94校誕生している。それぞれ成果を上げている。時代は大きく変わっている。少子高齢化は、特に地方では具体的になってきている。前号で表にまとめてみたが、産業が活発な太田市でさえ、たったの5年間で小学校の入学者は250人減る。そのために、どう対応するか？学校を閉鎖して近隣学校との合併を計ることはとっさに思い浮かぶ。周辺のまちでは小学校の統合が始まっている。近年、桐生地区では高校を2校減らすことを決めた。教育委員会から「北中学校区の義務教育学校を検討している」という話を聞き「児童数が減る中、この試みを成功

させたい」との思いで賛成し教育会議に出した。令和3年4月、開校が決まった。期待してほしい。

時代が変わるのを知ってか知らずか、変えることにちゅうちょする人もいる。変え方を一緒に議論する方がどれだけ建設的だろうに、と思うのだが…。